

## 認定資格が仕事の好循環を作る 依頼が依頼を呼ぶ海外の受注方法とは

前回までは、世界と日本の賃金事情を比較してきました。今回は、各国の職人のなかでもフリーランスに焦点を当て、彼らがどのようにクライアントと接しているのかをお話していきます。

### 世界中を飛び回る国外のフリーランス

日本の職人のなかにはいわゆる一人親方として働く職人が一定数います。世界各国でも同様に、フリーランスが数多く存在します。さて、彼らはどのように生計を立てているのでしょうか？実は、日本の一人親方とそう大差がない場合がほとんどです。例えば、

1. 仕事をもらう元受けが存在する
2. 企業の専属外注として契約している
3. フリーランス仲間から仕事を紹介などです。そして、受けた仕事が次の仕事につながっていくのも、日本と同じです。スキルや仕事の良し悪しが依頼主から評価され、信頼やリピートにつながっていきます。逆を言えば、遅刻したり、腕が未熟だったり、納期に間に合わなかったりした職人は仕事を失ってしまいます。いわば、技術と人脈による受注です。彼らの資本は、丈夫な体と運搬用トラックやバン、簡単な貼り道具のみです。スーツケース1個で制作現場を行脚しながら世界中を飛び回って、年間の半分以上出稼ぎしている強者もいます。ただし、元受け企業数社に頼る状況だと、単価交渉で足元を見られてしまう傾向があります。極めてシビアな請負金額になっているのも事実です。

### 地元密着型の個人事業法人

元請けに頼らず、生計を立てるためにはどうしたら良いのでしょうか。では次に、店舗を持っている個人企業法人について紹介します。個人事業主よりも少し規模を広げ、店名の看板を掲げて作業スペースを所有したり、社員を数名雇



①アメリカのバスラッピング専門企業 WRAPARTIST 社が手がけた車両  
②同社の Jamie Mullican 社長（写真右）と筆者（写真中央左）  
③同社社屋

用していたり、一般のエンドユーザーへ対応力がある職人たちを言います。

彼らは、対企業と対個人（直接販売）を両立させて業務を行います。とあるアメリカの例では、たった6名によって、1週間に8台ものバスラッピングを行っているケースがありました。受注は地元の広告代理店、バス会社やコマース企業などから受け、すべて自社工場で作業します。店舗を構えている分、高額な仕事も請け負えます。

欧州では、社長含め2~8名の会社が多く、地元のマーキングフィルム施工を直接受注したり、一般ユーザーが車両のラッピングを持ち込んだりと、いわば直販での受注形態をとっています。どちらの例にも共通するのは、地域に根付き安定して仕事を獲得しているという点です。スタッフを2~6名ほど雇えるだけの仕事量を確保できる営業力と、

業務遂行能力が求められます。

ちなみに世界各地では、徐々に女性のフリーランスも増えています。特にアメリカ、ドイツ、イギリス、ロシア、スウェーデンなどは顕著です。もちろん実力も技術も、男性に引けを足らないほどと言われています。これらの国は、先進的に男女の雇用差別をなくそうと動き出した国々。一方で日本を含むアジア圏では、残念ながら現状、女性の職人はほぼ見受けられません。ぜひ日本でも、女性のフリーランスラッパーが増えてほしいものです。

### 受注の肝は認定資格と業界ネットワーク

ここまでの話は国内と似た部分が多かったと思いますが、海外で安定して仕事を獲得するために重要な部分を3つ紹介していきます。

ひとつは、フィルムメーカーの試験を

# SAMURAI WRAPPER



世界中を飛び回るフリーランスのラッパーたち。近年、男性はもちろん、女性の職人も増えている

受けて公認の技術認定を得ることで。フリーランスの職人にとって、自分の腕を客観的に示す証となるもの。クライアントに営業をかける時の信頼度が変わります。ましてや、世界各国のメーカーが主導する認定は世界基準です。持っていれば、例え言語が伝わらなくても、貼り施工の確かな技術を証明できます。

次に施工実績です。ここ10年くらいの大体の相場だと、商用車ラッピング専門で年間数百台、一般車両で年間50台以上の施工実績があると十分です。実績があればあるほど、信頼につながるのは当然。うまくアピールすれば、より良い営業になります。

最後は、業界間のネットワーク化です。日本には、私が会長を務めさせていた一般社団法人日本ラッピング協会がありますが、このような協会や組合に所属して情報を得るのも、仕事を増やす方法のひとつです。ちなみに私は、MASTERS OF BRANDING（以下、MOB）という世界規模のラッピング団体に所属しています。ほかにさまざまなあり、大きなものだと数千社以上が

加盟している組織もあるそうです。

しかし、入会には条件があります。例えば MOB の入会資格で言えば、①フィルムメーカーの講師である ②展示会でデモンストレーション経験がある ③メーカーの認定資格を所得済み ④コンテストの上位入賞者である、などです。

組織のネームバリューを利用した営業はもちろんですが、入会している自負から生まれる品質管理と他の会員による監視によって、より質の良い仕事をするようになるという好循環も生まれるそうです。実際に MOB では、粗暴な営業や乱暴な品行を行い、退会させられた事例もあります。資格が仕事を作り、それが実績につながり、組織に入会できる条件のクリアにも近づいていきます。安定して仕事を受けるには、技術認定の取得が近道なのです。

海外の仕事について触れましたが、いかがだったでしょうか。次回は、昨年の第21回名古屋モーターショー内で行われたワールドラップマスターズ JAPAN のようなラッピングコンテストについて、紹介していきたいと思っています。

### 荻谷伊

（かりや ただし）



1969年2月3日生まれ。89年大学中退後、父の看板業を手伝い始める。07年より、カーラッピング専門の PPF 事業部を立ち上げ、車体装飾に注力。日本カーラッピング協会の会長も務める。現在は、数々の世界的ラッピングコンテストで受賞を果たす傍ら、世界各地で車体装飾のデモンストレーションを実施するなどトレーナーとして活躍。各国におけるサイン製作の現場も積極的に視察し、業界の発展に寄与する活動を続ける。

### 主なラッピングコンテスト

|  |     |
|--|-----|
| 2017年（アメリカ・ラスベガス）<br>SEMA SHOW HEXIS WRAPPING BATTLE | 2位  |
| 2018年（ドイツ・ベルリン）<br>FESPA WRLD WRAP MASTERS           | 4位  |
| 2018年（アメリカ・ロングビーチ）<br>WRAP OLYMPICS                  | 優勝  |
| 2018年（アメリカ・ラスベガス）<br>SEMA SHOW HEXIS WRAPPING BATTLE | 3位  |
| 2019年（ドイツ・ミュンヘン）<br>World Wrap Masters Europe        | 8位  |
| 2019年（アメリカ・ロングビーチ）<br>WRAP OLYMPICS                  | 準優勝 |

### SNS

フェイスブック（荻谷伊）  
Instagram @designlab.inc.wrap\_japan  
Twitter @tadashikariya

株式会社デザインラボ PPF 事業部

〒501-6023  
岐阜県各務原市川島小網町 2150-24  
TEL/FAX : 0586-89-2332

〒243-0021  
神奈川県厚木市岡田 3122 apr サービスセンター内  
TEL : 046-258-6531 FAX : 046-228-7636